

第54期 株主通信 2015年4月1日 - 2016年3月31日



株式会社 アイネス

証券コード：9742

ものづくり力強化と
サービス提供型ビジネスへの転換を推進。
既存分野の足固めと
新規分野への挑戦を継続します。

代表取締役社長 **森 悦郎**



**マイナンバー関連需要への着実な
対応により好調を維持し、増収増益を確保**

2015年度は国内景気が緩やかな回復基調を見せた中、企業のソフトウェア投資計画は、製造業で減少が予想されるものの、金融機関や非製造業を中心に増加が見込まれています。こうした事業環境の下、当社グループは積極的な営業活動と新しいソリューションの開発、マイナンバー制度に係る自治体のシステム改修需要への着実な対応に注力し、受注高・売上高の拡大に努めました。

売上高は、マイナンバー関連需要の好調を受

け、公共分野で192億31百万円(前期比12.8%増)と同分野の過去最高を更新し、全社では394億55百万円(同1.5%増)と増収を確保しました。利益面でもこの増収を受けて営業利益は22億12百万円(同13.5%増)と増益となり、営業利益率も5.6%と前期比0.6ポイント改善することができました。経常利益は22億67百万円(同14.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は、資産効率の改善に向けた有形固定資産・投資有価証券の売却等に伴う特別損益を計上したこと等により、14億54百万円(同71.6%増)と大幅増益となりました。

**収益獲得のチャンスを着実にとらえ、
さらなる事業拡大へ**

今後は、わが国の急速な少子高齢化の進展に伴い、子育て・介護など福祉系における法改正が進むと見られることから、マイナンバーの特需で、延期される傾向のあった自治体のシステム更新需要が本格化することが期待されます。また、金融分野ではFinTech(金融(Finance)と技術(Technology)を組み合わせた造語)、産業分野ではIoT等、新たなテクノロジーが注目され始めており、顧客とともに方向性を見極め、サービスの高度化等に向けた準備を進めていく必要があると考えています。

こうした流れに的確に対応するために、人材の有効活用、ノウハウの共有を図るとともに、品質や競争力のさらなる強化を図ります。また公共分野の主力製品、総合行政情報システム「WebRings(ウェブリングス)」は、現在、全国181自治体に導入いただいておりますが、この商品基盤を活用し、お客様ニーズに適ったソリューションを提供するとともに同業他社とのアライアンス戦略も進め、受注高・売上高の全国規模の拡大を図ります。さらに現在開発中の新システム「WebRings Plus(ウェブリングスプラス)」の販売活動を展開してまいります。

金融分野では、生損保各社の大規模システム開発への参画を通じてシェア拡大を図るとともに、グローバル展開が進むメガバンクのコアパー

トナーとしての地位確立を目指します。

産業分野では、クラウド・SaaSビジネスの拡大を図るとともに、コンサルから開発、運用、保守までのワンストップサービスを提供してまいります。

また既存分野の足固めに加え、将来の収益基盤強化に資する新規分野へも挑戦します。

**事業ポートフォリオを転換し外部要因に
依存しない収益体質へ**

2016年度は、売上高400億円規模を維持しながら、営業利益率6%の復活を目指し、営業利益24億円を目標としております。株主の皆様への利益還元につきましては、引き続き1株当たり年16円配当の実施を予定しており、自己株式の取得も継続してまいります。

マイナンバー特需が一巡する中、ここで緩みなく事業拡大と収益力の強化に取り組み、基盤強化を図ることが重要であると考えます。

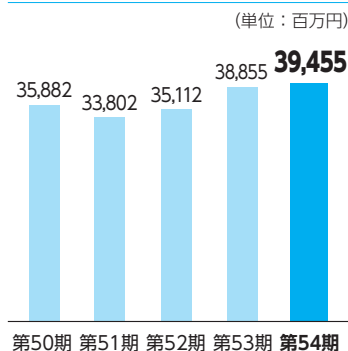
そこで、プロジェクト管理の徹底や品質の向上等、ものづくり力の強化に努めるとともに、従来の人員リンク型ビジネスからサービス提供型ビジネスへ、特に主力商品・サービスの拡販や、パッケージのクラウド提供等の高付加価値ビジネスに傾注し、事業ポートフォリオの転換を進めます。これにより、外部要因に依存しない収益体質を実現し、さらなる収益力向上を目指します。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

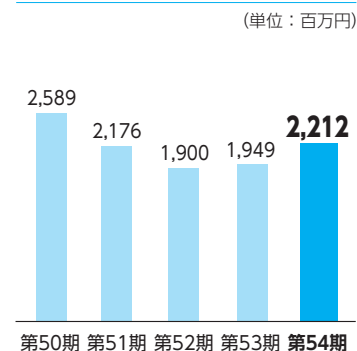
当期のポイント

- マイナンバー関連需要を中心とする公共分野で、過去最高の売上高を達成
- 売上高の増加や原価低減が奏功し、営業利益は前期比13.5%の増加
- 資産効率の改善に注力し、バランスシートのスリム化を実現

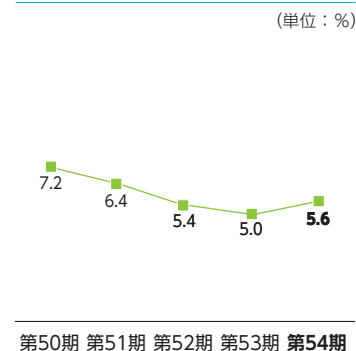
売上高



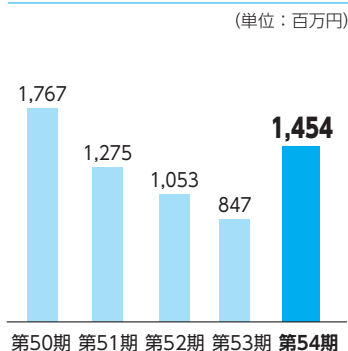
営業利益



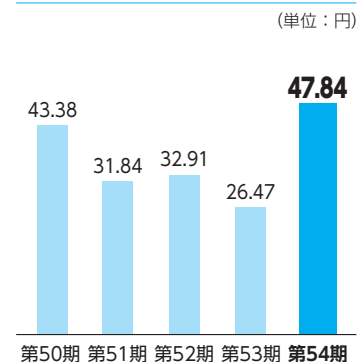
営業利益率



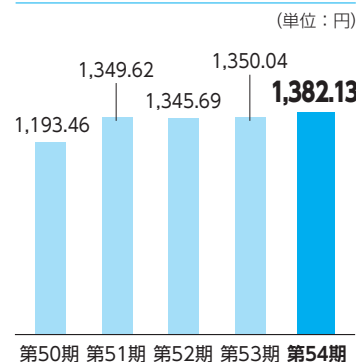
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益

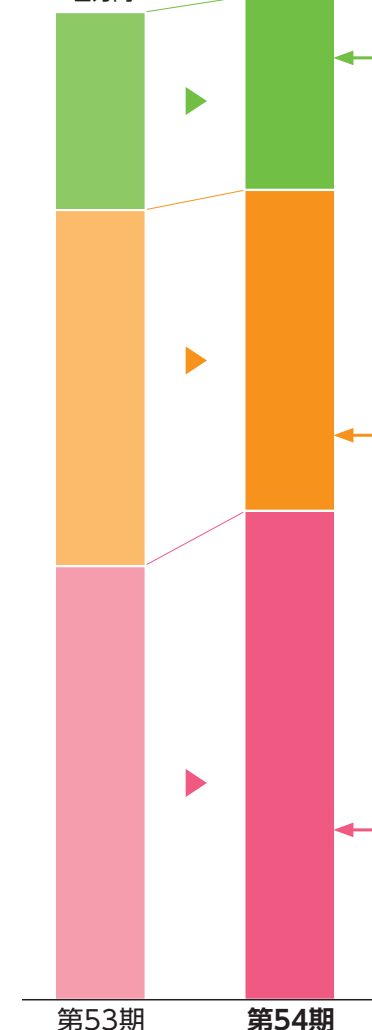


1株当たり純資産



業種別事業概況

38,855 百万円 (第53期) → 39,455 百万円 (第54期)



産業分野

売上高 → 7,596 百万円 前期比 → 2.5%減

- 産業分野の売上高は、前期比2.5%減の75億96百万円となりました。
- お客様の投資姿勢に回復感が見られず、減収となりました。

金融分野

売上高 → 12,627 百万円 前期比 → 9.9%減

- 金融分野の売上高は、前期比9.9%減の126億27百万円となりました。
- 主に銀行向けシステム開発の減少や生保向け機器販売の減少等により、減収となりました。

公共分野

売上高 → 19,231 百万円 前期比 → 12.8%増

- 公共分野の売上高は、前期比12.8%増の192億31百万円となりました。
- マイナンバー制度に係る自治体のシステム改修案件が増加したこと、また、前年度の開発案件が保守フェーズに移行し、システム保守の売上が増加したこと等により、増収となりました。

新規ソリューションの開発に積極的に取り組んでいます。

栄養管理ソフト「栄養マイスター Online」のサービスを開始

栄養士や食品関連企業向けに栄養計算や献立作成等を支援する栄養管理ソフト「栄養マイスター」(企画・開発:有限会社アクセスインテリジェント)をクラウドサービスとして提供する事業を開始しました。



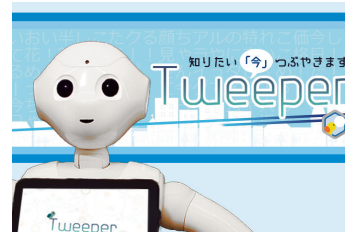
『Tweeper(ツイーパー)』がロボアプリマーケット for Bizで登場!

当社が開発・販売中のソーシャルメディア情報収集ツール「IFO Catcher」のコンセプトを基に、Pepper向けに応用させたアプリケーションです。

PepperとTwitter(ツイッター)の機能を合わせて開発された「Tweeper(ツイーパー)」を、「Pepper World 2016(2016年1月27日~28日)」に出展いたしました。

「Tweeper」は、PepperがTwitter上の最新ツイートをお知らせしてくれるアプリケーションです。ニュースやスポーツ、興味のある商品やお店の名前など、気になるキーワードをPepperの胸のタブレットに入力すると、PepperがTwitterのツイート内容を検索します。検索でヒットした最新のツイートは、Pepperのタブレットに表示され、同時に読み上げてくれます。

(「Tweeper」は“ロボアプリマーケット for Biz”にて、2016年6月より販売を開始いたしました。)



企業価値のさらなる向上のための取り組みにも継続注力しています。

ROE・ROA改善への取り組み

資本効率の改善に向けた資本・財務戦略として、アイネスグループ全体の資産の効率化を進めました。また、自己株式の取得を継続し、2015年7月1日以降、412万株(総額47億77百万円)の自社株を取得しました。

こうした取り組みの結果、2016年3月期末のROEは3.5%(前期比1.5ポイント増)、ROAは3.8%(同0.5ポイント増)にまで改善しました。

個人投資家向けページを開設

当社HPに個人投資家向けのページを開設しました。事業内容や強みなど、当社をよりご理解いただくためのコンテンツを掲載しております。



企業CM配信、新宿駅と東京駅に看板広告掲示

「Future & Harmony~未来を考えるIT企業」というブランドイメージ構築に向けて新宿アルタビジョンで企業CMを配信しているほか、新宿駅と東京駅に看板広告を掲示しました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第54期 2016年3月31日現在	第53期 2015年3月31日現在
資産の部		
流動資産	23,865	23,835
固定資産	32,961	38,043
有形固定資産	25,065	29,409
無形固定資産	2,140	2,909
投資その他の資産	5,754	5,724
資産合計	56,826	61,879
負債の部		
流動負債	6,146	8,068
固定負債	11,613	10,565
負債合計	17,760	18,634
純資産の部		
株主資本	40,134	43,528
資本金	15,000	31,457
資本剰余金	24,322	7,864
利益剰余金	5,226	4,271
自己株式	△ 4,414	△ 65
その他の包括利益累計額	△ 1,067	△ 312
非支配株主持分	—	29
純資産合計	39,066	43,245
負債純資産合計	56,826	61,879

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第54期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで	第53期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
売上高	39,455	38,855
売上原価	31,729	31,573
売上総利益	7,725	7,281
販売費及び一般管理費	5,513	5,332
営業利益	2,212	1,949
営業外収益	134	81
営業外費用	80	44
経常利益	2,267	1,986
特別利益	1,352	38
特別損失	1,498	18
税金等調整前当期純利益	2,121	2,006
法人税、住民税及び事業税	721	1,019
法人税等調整額	△ 54	139
当期純利益	1,454	847
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	1,454	847

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	第54期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで	第53期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,113	2,650
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,495	△ 1,774
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,850	△ 769
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 2,242	106
現金及び現金同等物の期首残高	8,278	8,171
現金及び現金同等物の期末残高	6,036	8,278

会社概要

設立 1964年7月
本社所在地 東京都千代田区三番町26番地
(本店所在地：横浜市都筑区牛久保三丁目9番2号)
上場取引所 東証第一部 (証券コード9742)
資本金 15,000百万円
従業員数 1,404名 (連結1,665名)
URL <http://www.ines.co.jp/>
事業の内容
 ● 情報処理・通信サービス
 ● ソフトウェア開発
 ● システム提供サービス
 ● その他システム関連サービス

グループ会社一覧

株式会社KDS
(人材派遣およびデータエントリー業務)
<http://www.kds-net.co.jp/>

株式会社アイ・エス・エス
(システム関連サービス)
<http://www.k-iss.co.jp/>

株式会社SKサポートサービス
(システム運用)
<http://skss.jp/>

新日本システム・サービス株式会社
(システム運用およびソフトウェア開発)
<http://www.shinnihonsys.co.jp/>

愛寧寿情報系統(上海)有限公司
(上海におけるシステムの設計および開発)

愛寧寿情報系統(香港)有限公司
(香港におけるシステムの設計および開発)

役員 (2016年6月28日現在)

取締役および監査役

代表取締役	森悦郎
取締役	塚原進
取締役	吉村晃一
取締役	鈴木栄二郎
取締役	高野克司
取締役	濱田一秀
取締役	西村昭治
常勤監査役	當山稔
常勤監査役	打込愛一郎
監査役	仁科秀隆

社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役

独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

執行役員

社長	森悦郎
常務執行役員	塚原進
執行役員	吉村晃一
執行役員	鈴木栄二郎
執行役員	高野克司
執行役員	小川哲也
執行役員	鈴木玲子
執行役員	萬野哲夫
執行役員	高橋文彦
執行役員	太田聡
執行役員	河村弘隆

1 本社	〒102-0075 東京都千代田区三番町26番地 TEL.03-6261-3400
2 横浜事業所	〒224-8507 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-2 TEL.045-912-5500
3 川崎事業所	〒213-8585 神奈川県川崎市高津区二子6-13-10 TEL.044-812-1151
4 関東サービスセンター	〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷1-19-6 TEL.048-990-5900
5 北海道支社	〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西9-3 TEL.011-222-1302
6 東北支社	〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町13-18 TEL.022-265-7401
7 中部支社	〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南1-17-23 TEL.052-566-3001
8 関西支社	〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町1-4-8 TEL.06-6203-1430
9 中国支社	〒732-0053 広島県広島市東区若草町9-7 TEL.082-261-5301
10 九州支社	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1 TEL.092-235-1611
11 シンガポール支店	50 Raffles Place, #32-01 Singapore Land Tower, Singapore 048623



株式の状況

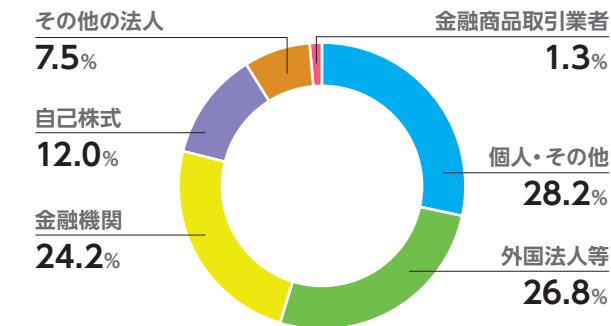
発行可能株式総数	175,477,400株
発行済株式総数	32,100,000株 (内 自己株式数 3,834,496株)
株主数	8,092名

大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	2,001	6.2
日本マスタートラスト信託 銀行株式会社(信託口)	1,922	6.0
株式会社日立ソリューションズ	1,562	4.9
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT	1,350	4.2
アイネスグループ社員持株会	1,210	3.8

※1 上記のほか、自己株式が3,834,496株あります。
 ※2 持株比率は、発行済株式総数に対する比率です。

所有者別分布状況



株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 (その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします)
公告	当社ホームページにより公告いたします。 http://www.ines.co.jp/ir/koukoku.html
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL. 0120-232-711 (フリーダイヤル)

各種お手続きについて

- 株主様の住所変更、買増・買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きや株主様の口座へのお振替手続きにつきましては、特別口座管理機関の三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。配当金は、支払開始の日から満3年(除斥期間)を経過しますと、当社定款の規定によりお支払いできなくなりますので、お早めにお受け取りください。



株式会社 アイネス

〒102-0075 東京都千代田区三番町26番地
TEL. 03-6261-3400



2016.6_INES_SU011_8700T